

# 新年のごあいさつ



## 年頭にあたって



あま市長

村上 浩司

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は市政運営に対しまして、ひとかたならぬご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、やはり新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年であったかと思えます。市民の皆様には長期間に及ぶ感染拡大防止に対する取り組みにご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、昨年は新型コロナウイルスワクチン接種も開始されました。当市でも4月から集団接種を行ってまいりましたが、市民の皆様には予約が取れない、電話がつながらない等のご迷惑をおかけいたしました。現在では接種対象者のおおよそ8割の方が接種済みという状態になりました。予期できない災害ともいえる状況の中、至らない面もあつたかと思えます。皆様にご理解、ご協力をいただけたからこそ、円滑に接種を実施することができましたことを重ねてお礼申し上げます。

そのような中、あま市にとつて輝かしい話題がありました。昨年8月

## 新年を迎えて



あま市議会議長

伊藤 嘉規

新年あけましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、あま市議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また平素は、市議会に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。さて、昨年を振り返ってみますと、何と云っても新型コロナウイルス感染症を抜きには語ることはできません。

一昨年以上に猛威を振るい、一時期は国内の感染者、重症者の数も恐ろしいほど増え続けたことにより、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置により、経済活動の自粛が余儀なくされました。

こうしたコロナ禍の極めて厳しい状況において、賛否両論の中、「希望と勇気を届けたい」と東京2020オリンピック競技大会が開催されました。

このオリンピックでは、あま市出身の武藤弘樹選手がアーチェリー男子団体で銅メダルを、また、加納虹輝選手がフェンシング男子エペ団体で金メダルに輝き、あま市民に

## 新春を迎えて



愛知県知事

大村 秀章

あけましておめでとうございます。新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が、県民の皆様のご生活や経済活動に大きな影響を与え、中・安心な日常生活と活力ある社会・経済活動をとり戻していくため、オール愛知で一丸となつて、感染症の「克服」に向けた取組を進めてまいりました。

こうした中でも、ジブリパークの整備推進、世界最高クラスのアリーナとなる愛知県新体育館、国内最大のスタートアップ支援拠点「STAYCOZ」の整備着手など、感染症克服後を見据え、将来にわたつて、日本の成長をリードし続ける愛知を形作っていくけるよう、愛知を「前進」させた1年となりました。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な発展などにより、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展を力強くリードしていくためには、そうした変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければなりません。

に開催された、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ、あま市にゆかりのある3名の選手が出場され、アーチエリート男子団体であま市出身の武藤弘樹選手が銅メダルを、同じくあま市出身の加納虹輝選手がフェンシング男子エペ団体で金メダルを獲得されました。市の名声を高め、市民に明るい夢と希望を与えてくださったお2人の功績をたたえ、市民栄誉賞を贈呈しました。

あま市ではさまざまな世代の方がいきいきと活躍でき、いくつになっても輝くことができるまちづくりを行っております。本年は、まちづくりの指針である「第1次あま市総合計画」の計画期間が満了いたしますことから、より一層、さまざまな地域資源を活用し、協働による個性的で夢のあるまちづくりを進めるため、現在、新しい指針となる「第2次あま市総合計画」の策定を進めているところでございます。

少子高齢化の進行や人口減少による地域経済への影響、防災意識の高まり、感染症の拡大に伴う健康や雇用に関する懸念など、あま市を取り巻く社会情勢は変化しており、地域特性や市民ニーズ、財政状況などに応じた意思決定がますます重要となっております。今後も、市民の皆様一人ひとりが安心して輝かしい生活を送っていただけるよう各種施策を着実に推進してまいります。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、健康で幸多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和4年元旦

まさに希望と勇気を与えてくれた大変うれしいニュースでした。

新型コロナウイルス感染症との闘いにおいては、さまざまな問題を支援するため、市議会においても議論を重ねてきております。

そうした中、感染防止にはワクチン接種が最も有効であるとし、国からのワクチンの供給も進み、多くのあま市民の方々が接種に協力をいただきました。

こうしたことから、現在ではあま市も厳しい感染状況から脱することができております。

今後も、油断せず、感染対策に努めたいものです。

最後に、本市議会では、皆さまの声が反映される議論をし、議会の役割をしつかりと果たし、市民に求められる議会を実現していきたいと考えております。

市民の皆様には、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい、幸多い年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

令和4年元旦

今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業とのオープンイノベーションにより、イノベーションが次々と創出される、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進するとともに、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア大交流圏を見据えた社会インフラ整備、農林水産業の振興・教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉・環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にもしっかりと取り組んでまいります。

今年7月には、3年に一度の国際的な現代アートの祭典、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋にはいよいよ、ジブリパーク全5エリアのうち、「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」などご森エリアの3エリアが開業します。愛知の魅力を高める取組を着実に進め、国内外での愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

2022年は、1872(明治5)年に現在の愛知県が誕生してから、150周年にあたる記念すべき年です。県民の皆様は、郷土への愛着と誇りを改めて持ってください、そして、将来も愛知県に住み続け、愛知をより良くしていきたいと思っただけで済ませず、今年も全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和4年元旦